

こだいらオープンガーデン

オーナー（庭主）の好意により、個人の庭を一定期間、一般の人に公開する活動のことで、市内に現在26か所あります。

夏の庭を探検！（森田オープンガーデン）

令和2年5月臨時会が5月19日に開催され、令和2年度小平市一般会計補正予算（第2号）など3件の市長提出議案を可決したほか2件の市長専決処分を承認しました。

令和2年6月定例会は、6月2日から6月26日まで25日間の会期で開催されました。この定例会では、小平市監査委員の選任など24件の市長提出議案を可決・同意しました。また、議員提出議案は、特別定額給付金は今回だけにとどまらず、今後も必要に応じて実施することを求める意見書など2件を可決しました。

また、6月3日から3日間にわたり、26人の議員から52件の一般質問がありました。

5月臨時会・6月定例会

令和2年度 一般会計補正予算（第2号） などを可決

—新型コロナウイルス感染症対策を含む—

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

8月24日（月）総務委員会
8月25日（火）生活文教委員会
請願・陳情締切り（午前中）（※1）
8月26日（水）厚生委員会
8月27日（木）環境建設委員会
8月28日（金）幹事長会議（※2）
9月 3日（木）議会運営委員会（※2）
9月 8日（火）9月定例会本会議（初日）
9月 9日（水）9月定例会本会議（一般質問）
9月10日（木）9月定例会本会議（一般質問）
9月11日（金）9月定例会本会議（一般質問）

9月14日（月）総務委員会
9月15日（火）生活文教委員会
9月16日（水）厚生委員会
請願・陳情締切り（午前中）（※3）
9月17日（木）環境建設委員会
9月18日（金）広聴広報特別委員会
9月23日（水）都市基盤整備調査特別委員会
9月24日（木）幹事長会議（※2）
9月25日（金）議会運営委員会（※2）
9月28日（月）公共施設マネジメント調査特別委員会
9月30日（水）9月定例会本会議（最終日）
広聴広報特別委員会（※2）

10月 6日（火）小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
10月13日（火）決算特別委員会（一般会計）
10月14日（水）決算特別委員会（一般会計）
10月15日（木）決算特別委員会（一般会計）
10月16日（金）決算特別委員会（特別会計・下水道事業会計）
10月20日（火）広聴広報特別委員会
（※1）9月定例会初日上程の受付期限です。
（※2）開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。
（※3）9月定例会最終日上程の受付期限です。

日程、開会時刻等に変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

可決、同意または承認した 主な議案

専決処分(令和2年度一般会計補正予算(第1号))

国の令和2年度第一次補正予算により特別定額給付金給付事業が行われることとなり、市として速やかに給付事務に着手する必要があることから、5月1日付で市長専決により予算の補正を行いました。

令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策第2弾として、国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に傷病手当金を支給する市町村等に対し、支給額全額について国が特例的な財政支援を行うとされたことに伴い計上するものです。

令和2年度一般会計補正予算(第2号)

本補正予算は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市内の事業活動や市民生活を守るため、国や都の補正予算等を最大限活用し、市として緊急対策に取り組むほか、小・中学校でのGIGAスクール構想実施や、新たに実施することとなった事業経費等を計上するものです。

歳出の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策として、住居確保給付金に係る経費を増額し、障害事業所等及び介護事業所への業務継続支援事業を新設します。また、子育て世帯への臨時特別給付金事業を実施す

るとともに、妊婦支援として育児パッケージを拡充するほか、売上げが減少している市内の中小企業等へ家賃支援を実施します。そのほか、小・中学校におけるGIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末整備としてタブレットPCを購入するとともに、学校給食休止に伴う給食食材補償費を計上します。

令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策第2弾として、国民健康保険において、新型コロナウイルス感染症に感染するなどした被用者に傷病手当金を支給する市町村等に対し、支給額全額について国が特例的な財政支援を行うとされたことに伴い計上するものです。

令和2年度一般会計補正予算(第3号)

本補正予算は、国の令和2年度第二次補正予算により、市として速やかに着手する必要がある給付事業のほか、市の補正予算第2号の事業を一部組み替えて、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費等を計上するものです。

歳出の主な内容は、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給するほか、保育施設などに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

の衛生用品や備品等購入経費などを補助します。また、市の補正予算第2号で予算化した小平市中小企業等支援給付金事業の財源を活用して、こだいら観光まちづくり協会による市内飲食店等支援事業への補助及び小平市事業者感染防止徹底協力金事業を実施するほか、PCR検査センターの設置経費を補助します。

小平市議会会議規則の一部を改正する規則制定

任意の会議である幹事長会議を、地方自治法第100条第12項に基づき公務とするため、会議規則第112条の2「協議、又は調整を行うための場」の別表に幹事長会議を加えるものです。

監査委員の選任同意

任期満了に伴う監査委員の選任について同意を求め、議案が提出され、次のおり選任することに同意しました。

農業委員会委員の任命同意

任期満了に伴う農業委員会委員の任命について同意を求め、議案が提出され、次のおり任命することに同意しました。

議案に対する各議員の賛否

※1 用語の解説については7面をご覧ください。

5月臨時会

会派名略称 ()内は各会派の議員数

政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 一人：一人会派の会(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1...無会派)

Table with 7 columns: 政和, 公明, フォ, 一人, 共産, 生ネ, 市民. Lists names of council members for each group.

全会一致で議決した議案 (※議長は表決に加わりません。)

Table with 7 columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, 番号, 件名, 議決結果. Lists council resolutions.

6月定例会

会派名略称 ()内は各会派の議員数

政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 一人：一人会派の会(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1...無会派)

Table with 14 columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, and 10 columns for council members (政和, 公明, フォ, 一人, 共産, 生ネ, 市民) with '賛' and '反' columns.

○：賛成 ×：反対 -：欠席

※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案 注1 注2

Table with 7 columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, 番号, 件名, 議決結果. Lists council resolutions.

注1 議長は表決に加わりません。

注2 小野高一議員は欠席のため、議員提出議案第20号及び21号、市長提出議案第37号～42号の表決に加わりません。

議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

<委員会名の略称>

総務=総務委員会、生文=生活文教委員会、厚生=厚生委員会、
環建=環境建設委員会、広聴広報=広聴広報特別委員会、
都市基盤=都市基盤整備調査特別委員会、
公共施設=公共施設マネジメント調査特別委員会、
四長総=小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
議運=議会運営委員会 (◎=委員長、○=副委員長)

写真

氏名(年齢は発行日現在)
当選回数 会派名
常任委員会・特別委員会等
住所(事)は事務所
電話番号

 あひかわ ひろし 虹川 浩 (59) ④ 市議会公明党 生文・広聴広報・議運 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 いそやま りょう 磯山 亮 (40) ③ 政和会 議長 花小金井南町1-18-39-305 ☎042-452-7631	 いとう ひさし 伊藤 央 (50) ② 一人会派の会 生文・公共施設・四長総 学園西町2-28-11-210 ☎042-307-9054	 おの こういち 小野 高一 (72) ③ 政和会 総務(◎)・公共施設 小川町2-1879-4 ☎042-343-8412	 かわさと ふみ 川里 富美 (41) ① フォーラム小平 厚生・広聴広報・公共施設・四長総 (事)花小金井4-33-7-203 ☎(事)050-3596-7611	 きせ えみこ きせ 恵美子 (58) ② 日本共産党小平市議団 環建(○)・議運 鈴木町2-229 ☎042-478-1133	 こばやし ようこ 小林 洋子 (47) ③ フォーラム小平 環建・都市基盤(○) 鈴木町1-248 ☎042-341-5749
 さとう えつこ さとう 悦子 (55) ② 生活者ネットワーク 環建・広聴広報(○)・都市基盤・四長総 (事)学園西町2-15-2CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 さとう とおる 佐藤 徹 (61) ② 市議会公明党 総務・公共施設(○)・四長総 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 すずき だいち 鈴木 だいち (37) ① 日本共産党小平市議団 厚生・広聴広報・都市基盤 (事)小川町1-1023-12 ☎070-2166-6260	 すずき よういち 鈴木 洋一 (60) ① 政和会 環建・議運(○) (事)仲町165 ☎(事)042-343-3098	 たけい ようこ 竹井 ようこ (54) ② フォーラム小平 総務・四長総・議運 (事)美園町1-1-15 ☎(事)042-207-1232	 つもと ゆうこ 津本 裕子 (59) ⑤ 市議会公明党 副議長・総務(○)・都市基盤 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 なかえ みわ 中江 美和 (40) ② 一人会派の会 環建(○)・公共施設 学園東町1-10-16-101 ☎042-315-7475
 はしもと こうじ 橋本 孝二 (52) ① 市議会公明党 厚生・広聴広報・公共施設・四長総 上水南町1-5-5 ☎042-326-6526	 はしもと ひさお 橋本 久雄 (69) ⑥ 一人会派の会 総務・四長総(○)・議運 学園西町1-22-15サントピア並木1F ☎042-348-1127	 ひるま よういち 比留間 洋一 (63) ① 政和会 生文(○)・都市基盤 花小金井3-6-14 ☎042-461-3801	 ふくむろ ひでとし 福室 英俊 (30) ① 政和会 厚生・広聴広報・公共施設・四長総 (事)上水新町2-5-26 ☎(事)070-2163-2966	 ほそや ただし 細谷 正 (41) ③ 日本共産党小平市議団 総務・公共施設(○)・四長総 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818	 まつおか あつし 松岡 あつし (35) ② 政和会 総務・広聴広報・都市基盤(○)・四長総(○) 学園西町1-16-10-204 ☎042-343-7520	 みずくち かずえ 水口 かずえ (58) ① まちづくり市民こだいら 生文・都市基盤・四長総 (事)学園東町2-4-11ハウス井上101 ☎(事)042-313-5108
 やすたけ ようへい 安竹 洋平 (42) ① 一人会派の会 厚生・広聴広報(○)・都市基盤 大沼町1-2-1リヴェール207 ☎042-313-6780	 やまはら まゆみ 山浦 まゆみ (45) ① 生活者ネットワーク 生文・公共施設 (事)学園西町2-15-2CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 やまざし まちこ 山岸 真知子 (61) ④ 市議会公明党 厚生(○)・都市基盤 たかの台19-7 ☎042-309-5355	 やまざき ともこ 山崎 とも子 (52) ② 生活者ネットワーク 厚生(○)・議運 (事)学園西町2-15-2CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 やまだ だいすけ 山田 大輔 (47) ① 政和会 生文・四長総・議運 学園東町496-54 ☎042-345-8862	 やまだ まさゆき 幸田 昌之 (52) ③ 市議会公明党 環建・四長総・議運(○) 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 よしもと ゆうすけ 吉本 ゆうすけ (37) ② フォーラム小平 生文(○)・都市基盤 小川西町2-18-5 ☎042-315-9337

常任委員会

◎=委員長
○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により4つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会 (7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、市民相談などに関する事項

- ◎小野 高一 ○津本 裕子
- 佐藤 徹 竹井ようこ
- 橋本 久雄 細谷 正
- 松岡あつし

■厚生委員会 (7人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎山岸真知子 ○山崎とも子
- 川里 富美 鈴木だいち
- 橋本 孝二 福室 英俊
- 安竹 洋平

■生活文教委員会 (7人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎吉本ゆうすけ ○比留間洋一
- 虹川 浩 伊藤 央
- 水口かずえ 山浦まゆみ
- 山田 大輔

■環境建設委員会 (7人 欠員1人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎中江 美和 ○きせ恵美子
- 小林 洋子 さとう悦子
- 鈴木 洋一 幸田 昌之

特別委員会

◎=委員長
○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会 (8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎さとう悦子 ○安竹 洋平
- 虹川 浩 川里 富美
- 鈴木だいち 橋本 孝二
- 福室 英俊 松岡あつし

■都市基盤整備調査特別委員会 (10人)

①駅前再開発の基本的事項の調査に関する事②都市計画道路、鉄道の連続立体交差の基本的事項の調査に関する事③都市計画公園整備の基本的事項の調査に関する事

- ◎松岡あつし ○小林 洋子
- さとう悦子 鈴木だいち
- 津本 裕子 比留間洋一
- 水口かずえ 安竹 洋平
- 山岸真知子 吉本ゆうすけ

■公共施設マネジメント調査特別委員会 (9人)

公共施設マネジメント推進計画の調査に関する事

- ◎細谷 正 ○佐藤 徹
- 伊藤 央 小野 高一
- 川里 富美 中江 美和
- 橋本 孝二 福室 英俊
- 山浦まゆみ

■小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会 (13人)

小平市第四次長期総合計画基本構想に関する事

- ◎松岡あつし ○橋本 久雄
- 伊藤 央 川里 富美
- さとう悦子 佐藤 徹
- 竹井ようこ 橋本 孝二
- 福室 英俊 細谷 正
- 水口かずえ 山田 大輔
- 幸田 昌之

議会運営委員会 (8人)

◎=委員長
○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎幸田 昌之 ○鈴木 洋一
- 竹井ようこ 橋本 久雄
- 虹川 浩 山崎とも子
- きせ恵美子 山田 大輔

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。



避難生活での感染症拡大防止／緊急時にタイムリーな情報発信

橋本孝二議員(市議会公明党)

災害発生時の避難生活における感染症拡大防止の仕組み構築を

質問 ①避難所の衛生環境を保持していく方法について見解は。

②新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた防災マップの作成や、今後の防災対策に関する市民周知についての取組は。

市長 ①避難者に手洗いやせきエチケット等の徹底を周知するほか、十分な換気等に努めることが重要であると認識している。

②来年度以降発行の防災マップに感染症対策の内容を掲載するよう検討していく。また、市民に対しては、出前講座やホームページ等により啓発していく。

緊急時にタイムリーな情報発信ができるホームページ等構築を

質問 ①新型コロナウイルス感染症拡大等の緊急時には、市長から市民へのメッセージが重要だが、いつ発信するのか。

②特別定額給付金の情報掲載が遅いと考えが見解は。

市長 ①国や都の対策など迅速、的確に伝える必要があると判断した際に発信しており、過去5回発信した。今後も感染拡大の状況等見極め適宜発信していく。

②よくある質問のページなど内容の充実を図り、常に最新情報の掲載に努めている。今後も迅速な情報提供に努めていく。



次期地域包括ケア推進計画の感染症対策／休館日の本貸出しを

佐藤 徹議員(市議会公明党)

次期小平市高齢者保健福祉計画等に感染症対策を盛り込むべき

質問 ①次期地域包括ケア推進計画策定に当たり、感染症拡大防止の課題把握等のため、再度のアンケート実施等が必要では。

②感染症により介護事業所でのデイサービス等が縮小されているが、補完する訪問サービスができるよう支援するべきでは。

市長 ①再度アンケート調査を行う予定はないが、感染症による介護サービスへの影響等については、介護事業所へのヒアリング等を通じて把握していく。

②訪問サービスに特化した支援ではないが、介護事業所業務

継続支援事業で支援していく。図書館の感染症予防対策と臨時休館日での本の貸出し実現を

質問 ①3密対策の取組状況は。

②宅配サービスの導入等で休館時の貸出しを実現すべきでは。

教育長 ①日本図書館協会のガイドラインを参考に策定している。予約貸出し再開に際し、窓口のビニールカーテン設置等をしており、今後の館内利用の再開に当たってはレイアウト見直し等、必要な対策を講じていく。

②宅配サービスは休館時に本を提供する有効策の1つである。感染症拡大防止に努め、提供できるサービスを研究していく。



新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守るために

きせ恵美子議員(日本共産党小平市議団)

新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守るために

質問 ①雇止めや失業による、生活困窮者からの生活保護の申請が増えていると思われるが、担当課の対応は。

②全国一斉休校による児童・生徒の学力や精神的ケア、非正規の学校給食調理員への対応についてどのように考えているか。

市長 ①新型コロナウイルス感染症の影響で、今後、相談が増加すると予想されることから、相談者の状況を十分把握した上で、困り事に応じた支援ができるよう、引き続き適切かつ迅速な対応に努めていく。

教育長 ②児童・生徒の学力や精神的ケアについては、臨時休業期間中に各学校で週1回の相談日を設け、児童・生徒の心身の状況把握や家庭学習における質問への対応等を行い、学校と児童・生徒や保護者が双方向のコミュニケーションを図る機会とした。また、教科書を併用できる教材や動画を活用した課題を提示し学習習慣をつくることのできるよう働きかけてきた。

非正規の学校給食調理員への対応は、会計年度任用職員として任用し、衛生管理やアレルギーについてマニュアルや事例集の内容把握など業務スキル向上に努める期間として取組を行った。



ポストコロナ・ウィズコロナ時代をどう生き抜くか

伊藤 央議員(一人会派の会)

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の小平市について

質問 ①ポストコロナ・ウィズコロナ時代では価値観や社会の在り方が大きく変わるが見解は。

②検討中の第四次長期総合計画は、従来の価値観や生活の延長線上にあり、大きく見直す必要があると考えが見解は。

③大型公共事業の見直しが必要だが検討等は行われているか。

④地域防災計画や避難所管理運営マニュアル作成の指針等について見直しや改訂の必要性は。

市長 ①時間や場所にとらわれない働き方やICTによるネットワーク形成など予測されている

た生活の変容が加速され確実性を増し社会のデジタル化が進む。

②困難な時代においても持続可能な地域社会を構築するため、今後の変化にも対応するまちづくりの方向性を示していく。

③大型の公共事業に限らず、市の事業の見直しが必要と考え、検討に着手している。

④本年度から2か年で地域防災計画を修正予定である。避難所管理運営マニュアル作成の指針は感染症対策について新たに追加するなど見直しを検討する。

【掲載分以外の質問項目】

○早急な市民生活支援と緊急事態宣言解除後の速やかな経済対策を



市民サービスの向上を／市民のために働く方を支援するために

幸田昌之議員(市議会公明党)

市民サービスの向上を加速化すべき

質問 ①今後の市民サービス向上に必要なマイナンバーカードの交付率を向上させる施策は。

②コンビニエンスストアでの各種証明書発行の検討、実施を前倒しで進めるべきが見解は。

市長 ①市報やチラシ配布等で張申請受付や無料で写真を撮り申請書作成を手伝う申請サポートを行っていく。また、国のマイナポイント事業の周知で利用拡大を図り交付率向上に努める。

②庁内関係部署で連携を図りながら時期も含め検討を進める。

市民の生活を守るために働く方を支援するために

質問 ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う一般廃棄物収集事業者の安全対策は。

②リサイクルセンターの一般廃棄物処理事業者の安全対策は。

市長 ①公衆衛生対策は、マスクの着用や消毒の徹底等で、感染機会の低減対策は、作業員の時差出勤や全員での朝礼の中止等である。また、作業員が安全に収集できるようにマスク等の感染性廃棄物の出し方をホームページ等で積極的に周知している。

②作業時のマスク着用や半数交代勤務等の取組を行っている。



図書館が実施している感染症予防対策の例(中央図書館)



東部地域の開発における諸課題／こだいら健康生活上委員会

津本裕子議員(市議会公明党)

東部地域の開発における諸課題について

質問 ①現在進行している開発事業の実施箇所数は。

②工事着工後に苦情等、要望が寄せられている主なものは。

③要望等に対し、道路管理者である市が取り得る対応策は。

市長 ①市への届出が必要な事業は5月21日時点で17件である。

②事業主から事前に説明があった曜日や時間以外での工事に伴う騒音に関するもの等である。

③工事車両などの増加で歩行者への注意喚起等が必要な場合は、道路管理者として事業主へ安全対策の徹底を指導し道路の

安全確保に努めるなどしている。今こそ(仮称)こだいら健康生活上委員会

向上委員会の取組を進めよう

質問 ①東京都北区のワンコインで健康チェックのようにセルフチェックの強化をすべきでは。

②こだいら健康ポイントを拡大し、既存アプリとの連携等で参加者拡大を図るべきでは。

市長 ①55歳以下の女性対象の、女性のためのセルフケア教室等で骨密度等を測定している。今後も市民自ら健康づくりができるような事業を行っていく。

②本年度中に事業効果等を検証する予定であり、その中で参加者拡大の方策を検討していく。



避難所における3つの密対策を急ぐための行動計画を



市の感染症対策を問う／一橋学園駅周辺にタクシー乗り場を



急に始まるGIGAスクール構想、誰一人見過ごすな



ステイホーム等を守り支援充実を／たかの台地域のまちづくり

一般質問

避難所における3つの密対策を急ぐための行動計画を
質問 ①現在、市内に避難所は何か所あるか。
②避難所での感染症予防のため衛生用品は準備できているか。
③避難所で3密を避けるためのスペースは確保できるか。
④在宅避難の場合、市から救済物資は支給してもらえるか。
⑤地域防災計画に感染症の行動計画を追加すべきだが見解は。
市長 ①令和2年5月末現在で、一次避難所、二次避難所を合わせて74か所である。
②現在、ウェットティッシュやタオル等の備蓄を進めている。

小平市の新型コロナウイルス感染症対策について問う
質問 ①社会活動の制限により、訪問介護、デイサービス等がストップしたケースはあったか。
②独自のPCR検査導入の検討など医療全般に関する対応は。
市長 ①介護サービス等は、緊急事態宣言の期間中も利用者に対するサービスの提供がされている。
②PCR検査は、医師会等と情報共有しながら導入の可否含め検討している。市内医療機関に不織布マスクを提供するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の情報共有など様々な課題解決に向け連携を図っている。

GIGAスクール構想
質問 ①GIGAスクール構想について、利用者が負担する費用発生の可能性とその内容は。
②ディスレクシアや不登校の児童・生徒がICT環境を活用できるような検討している内容は。
③個別最適化は学び合い、助け合う互助の精神育成の面で懸念があるが、どう捉えているか。
④リモート授業では児童・生徒の利便性や回線切断への対応のため授業は録画し、いつでも再生できるようにしてはどうか。
教育長 ①現時点では児童・生徒が家庭等に持ち帰って学習する

ステイホーム等を守りながら必要な支援を充実させるために
質問 ①こんにちは赤ちゃん事業など新生児訪問や相談事業は適切に実施されたか。
②家庭内のトラブル増加が懸念されているが、子ども家庭支援センターへの通報状況は。
市長 ①早い時期の訪問を希望する家庭に対し、感染対策を行った上で訪問するとともに、育児の不安を抱える家庭には電話相談を行うなど妊産婦に対する十分なフォローを実施している。
②本年4月に受けた相談は388件で、そのうち虐待関係は189件、それ以外の相談が199件である。



保育園待機児童対策／PCR検査体制と、医療崩壊を止めよう



介護崩壊対策を／利用者負担見直し／ヘイトスピーチを許すな



事業の見直しが必要／市民も行政も議員も一体で立ち向かおう



事業の見直しが必要／市民も行政も議員も一体で立ち向かおう

保育園待機児童対策と諸課題について
質問 ①今後の待機児童解消に向けた対応と、公立保育園の民間移行の見直しへの見解は。
②独り親家庭等を支援する給付金など市独自の支援策は。
市長 ①前者は、今後も保育需要の増加が想定される市の東側地域に、1、2歳児の定員が可能な限り多い認可保育園1園程度の新設を目指している。後者は、公立保育園の運営のあり方に関する方針改定版に沿って進めていく。
②困難と考えるが、国や東京都の補正予算の動向を注視する。

PCR検査体制の整備と、医療崩壊を食い止めよう
質問 ①PCR検査が急務だが、PCR検査センター開設に当たっての課題と対応への見解は。
②集団感染等の発生時に想定している対応と医療崩壊を食い止めるための対応への見解は。
市長 ①現在、小平市医師会、多摩小平保健所、近隣市等と情報共有を図り設置の可否を含め検討している。開設場所の設定や医師の安全確保が課題である。
②保健所を主体とした対応となるが市も連絡を密に連携等していき、感染症を正しく理解し、行動するための情報提供を行う。

集会施設等の利用者負担の見直しの方針は、新型コロナウイルス感染症が収束するまで凍結や延期にするべきでは。
市長 見直し案の公表時期等は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら判断していく。
ヘイトスピーチを許さず、差別のない人権尊重のまちづくりを
質問 5月10日に朝鮮大学校前で行われたヘイトデモについて、どのような対応策を取ったか。
市長 小平警察署からの連絡で街宣活動があることは把握したが、ヘイトスピーチ解消法では表現活動の制限はできないため、対応は特に行っていない。

事業の見直しが必要
質問 ①来年度の税収はどの程度減少すると予想しているか。
②3つの都市計画公園、都市計画道路3・3・3号線計画、小川駅西口地区と小平駅北口地区の市街地再開発事業の費用は。
③これら事業の見直しを検討する必要があるのではないか。
市長 ①歳入の大幅な減少は避けられないと認識している。
②鷹の台公園は約27億円、鎌倉公園は約76億円、武蔵公園は約8千5百万円を想定、3・3・3号線は約40億円、小川駅西口地区は約91億円で、小平駅北

新型コロナウイルス感染症の猛威から介護崩壊を防ぐ対策を
質問 4千万円の補正予算が組まれた介護事業所業務継続支援事業費の内容と内訳は。
市長 市内の介護事業所に対し、マスクや消毒液等の衛生用品等の購入経費について10万円を上限に補助する費用として2千4百万円を計上している。また、減収が一定以上あった通所系事業所等への業務継続支援のため最大20万円を支給する費用として1千6百万円を計上している。
公民館等の集会施設の有料化方針はコロナ禍において凍結を

集会施設等の利用者負担の見直しの方針は、新型コロナウイルス感染症が収束するまで凍結や延期にするべきでは。
市長 見直し案の公表時期等は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら判断していく。
ヘイトスピーチを許さず、差別のない人権尊重のまちづくりを
質問 5月10日に朝鮮大学校前で行われたヘイトデモについて、どのような対応策を取ったか。
市長 小平警察署からの連絡で街宣活動があることは把握したが、ヘイトスピーチ解消法では表現活動の制限はできないため、対応は特に行っていない。

GIGA スクール 構想の実現へ
1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」
多様な子供たちを誰一人取り残さず、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ
文部科学省

GIGAスクール構想に関する文部科学省の資料 (出典: 文部科学省ホームページ)
事業の見直しが必要
質問 ①来年度の税収はどの程度減少すると予想しているか。
②3つの都市計画公園、都市計画道路3・3・3号線計画、小川駅西口地区と小平駅北口地区の市街地再開発事業の費用は。
③これら事業の見直しを検討する必要があるのではないか。
市長 ①歳入の大幅な減少は避けられないと認識している。
②鷹の台公園は約27億円、鎌倉公園は約76億円、武蔵公園は約8千5百万円を想定、3・3・3号線は約40億円、小川駅西口地区は約91億円で、小平駅北



コロナ禍で経験したことを市の施策に十分に生かすために

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

新型コロナウイルス感染症対策の経験を災害対策に生かすため

質問 ①公立昭和病院への防護服等貸与は何に基づいたものか。

②布マスクの備蓄や消毒液の製造機器購入について見解は。

③避難所での感染症対策として、テントの整備等が必要では。

市長 ①感染症対応に従事する職員用として防護材料を購入し、保管していたものを貸与した。

②布マスクは洗浄時に水などを要するため使い捨てマスクの備蓄を考えている。消毒液の製造機器購入については研究する。

③テント整備は考えていない。避難所管理運営マニュアルでの

専用区域や居室の設定を考える。

感染症拡大防止のための自粛期間の市の事業や計画への影響

質問 ①計画策定などの検討を中断した件はあるか。

②次期環境基本計画には、さらなる地球温暖化防止策が必要だがこれまでの計画との違いは。

③次期行財政再構築プランについて、次期長期総合計画との整合性をどう図っていくか。

市長 ①中断はなくウェブ会議など代替手段を講じている。

②気候変動の影響を回避、軽減する適応策にも取り組む。

③自治体経営方針を基本構想の中に位置づけ整合性を図る。



家庭学習強化と学童クラブ整備/交付金で市独自支援の充実を

虹川 浩議員(市議会公明党)

小・中学校の家庭学習等の強化と学童クラブ等の環境整備を

質問 ①オンライン学習のコンテンツと時間を早急に作成すべきだが、見解は。

②過密等で問題となった学童クラブの受入れ環境の改善は。

教育長 ①産業界等が無償提供するコンテンツの積極的利用を校長連絡会等で働きかけている。

時間割の作成も指導しており、児童・生徒が規則正しい生活習慣を身につけ、学習を継続できるように学校に活用を促していく。

市長 ②緊急事態宣言発令後の規模縮小の結果、4月と5月の利用率が約15%となったため、



コロナ禍での社会的弱者への対応/正しい情報の提供について

川里富美議員(フォーラム小平)

コロナ禍における社会的弱者への市の対応について

質問 ①インターネット環境を整えられず、子どもが不便を強いられている独り親家庭に対する教育委員会の対策は。

②聴覚障害者について、マスクをしていないと口を読むことができずコミュニケーションが取りにくいのが市の施設での対策は。

教育長 ①オンライン学習の環境を整っていない家庭を対象に、小学校で保有するタブレット端末等の貸与を予定している。

市長 ②筆談対応のほか健康福祉事務センター配置の手話通訳者にはマスクをフェースシールドに換え通訳してもらっている。

正しいインターネット情報を提供することについて

質問 ①現在、市役所等がGoogleマイビジネスに登録されていない状況への見解は。

②今後、市の施設のGoogleマイビジネスへの対応は。

市長 ①登録をしていない場合、表示される市の管理施設等の情報を第三者が書き換えられるため、誤った情報が提供される可能性があると認識している。

②登録は考えてないが、施設検索サービスの課題や利用者意見等踏まえ、今後も正確で利便性の高い情報提供に努めていく。

小林洋子議員(フォーラム小平)

コロナ禍における学校生活について

質問 ①貧困家庭の援助が早急に必要だが就学援助を受給する家庭に給食費を補助すべきでは。

②受験生の保護者から心配の声がある。高等学校入学者選抜に係る国の通知に、関係団体等との連携とあるがどう図るのか。

③文部科学省は学習内容の次年度以降への繰越しを容認した。学習内容はどう変更されるのか。

教育長 ①給食費は必要保護者に実費相当額を支給するもので、昼食費負担の補助ではない。他市の動向等も見極めながら、支援策の1つとして研究していく。

②中学生が入学者選抜で不利にならないよう、各校進路指導担当や都の担当と連携していく。

③小平市では繰越しを行わず、本年度予定されている各教科等の内容を学習できるようにする。



育ちや学びを保障するには/市の事業を支える人の雇用確保

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

子どもたちの育ちや学びを保障するため

質問 ①休校中の授業の遅れをどのように取り戻していくか。

②今後の学校行事の考え方は。

③今後のオンライン授業についての教育委員会の見解は。

教育長 ①夏季休業期間の短縮、土曜授業日の追加で授業時間を確保し指導計画を見直ししていく。

②感染リスクが高い行事は中止し、感染症対策を講じること

で実施可能な行事は9月以降に延期し実施するよう計画する。

③緊急時においても、全ての児童・生徒の学びを保障できる重要な取組と認識している。

市の事業を支える人たちが安心して働いていくために

質問 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館、休業している指定管理者や委託業者に対し市として雇用を守るために働きかけをしているか。

②業務が遂行できない場合の指定管理料や委託料の考え方は。

市長 ①業務内容の変更協議の際、雇用確保に努める観点から他の業務への変更も検討する。

②遂行できない業務は減額変更となるが、今回は市の申出による業務内容変更のため、業務再開に備えその間の人材確保に必要な人件費の計上等ができる。



産前産後と子育て支援/小川駅西口再開発とにぎわいづくり

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

産前産後の支援と子育て支援について問う

質問 ①新型コロナウイルスの影響で通常どおり行っていないハローベビークラスの実施の有無とフォロ体制は。

②国や都が行う新型コロナウイルスに関する妊婦及び産後家庭への支援から、実施期日の関係で外れている妊娠、出産を迎えた家庭へ独自支援すべきでは。

市長 ①3月から休止しているが、今後、都の補助事業に基づき育児パッケージ追加配布の際に実施する妊婦へのアンケート結果を見ながら、電話等での相談を実施していく。

②子育て世代包括支援センター事業や乳児家庭全戸訪問事業等でしっかりフォローしていく。

小川駅西口再開発の進捗と駅周辺のにぎわいづくり

質問 ①説明会等を開きにくい状況で住民説明等を行う工夫は。

②周辺の商店会や商店会等への未加入事業者とも意見交換や、サポートをしていくべきでは。

市長 ①早期に説明機会を設けられるよう再開発組合と検討する。今後もお知らせ文書の配布等丁寧な情報発信に努めていく。



コロナ禍の市民生活を守る/高齢者、外国人、困窮者対応は

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

コロナ禍の市民暮らし、商業、雇用を守る市の施策を迅速に

質問 ①今後の独自支援策への考えと財源捻出などの検討は。

②(仮称)小平支え合い基金を創設し寄附を募る考えは。

③解雇等された市民を会計年度任用職員として採用しては。

市長 ①国や都の取組から漏れる人を支援する施策を財政状況をみ極め検討していく。また、財源捻出について事業見直しが必要と考え検討に着手している。

②市民の気持ちを生かせるよう寄附金の使途に新型コロナウイルス感染症対策等を追加した。

③今回、雇止めや企業等からの内定取消しの人を募集した。コロナ禍における高齢者外国人生活困窮者の対応について

質問 ①緊急事態宣言中、高齢者のみ世帯等への安否確認等は。

②外国人の相談窓口等は。

③生活保護相談体制の強化は。

市長 ①一部の見守り事業は実施できないが、訪問給食サービスでの安否確認等しているほか、地域包括支援センターでは電話等で健康状態把握に努めている。

②特定の相談窓口はないが、小平市国際交流協会等と連携し、情報提供に努めていく。

③こだいら生活相談支援センターと連携し迅速に対応する。

新型コロナウイルス感染症対策

市では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市内の事業活動や皆様の生活を守るための緊急対策として、障がい事業所等及び介護事業所への業務継続支援、売上が減少している市内中小企業等への家賃支援、学校などの除菌対策、住居確保給付金の確保などに取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症対策に、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

(使い道: 中小企業・障がい事業所・介護事業所の経済的支援など)

新型コロナウイルス感染症対策にご支援ください

学校におけるICT環境整備の推進

市では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、小・中学校におけるGIGAスクール構想の実現に向けて、生徒一人に1台の端末整備や、オンライン学習の整備など、生徒の学習支援に取り組んでいます。

学校におけるICT環境整備の推進に、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

(使い道: パソコンを一人一台に配備、オンライン学習の整備など)

新たに追加された寄附金の使途である「新型コロナウイルス感染症対策」と「学校におけるICT環境整備の推進」(出典: 小平市ホームページ)



コロナ対策は市の持ち出し 9,000万円にとどめず大胆な経済支援を

松岡あつし議員(政和会)

市長 ①各団体の財政調整基金の活用方針は承知してない。

質問 ①都は新型コロナウイルス感染症対策で財政調整基金を95%取り崩し、近隣市も約21%を取り崩すが、当市は5%にとどまっているこの差は何か。

②市長のリーダーシップにより事業者支援のためさらに財政調整基金を活用できないか。

③今は家賃支援のみだが、水道料金免除やローン等の固定費に対しての支援をできないか。

④市内事業者の経済状況について売上げの減少額の把握は。

⑤経済支援における政策的目標とKGI・KPIは。

市長 ①特別定額給付金を地域活性化のために使うキャンペーンを実施するべきだが見解は。

②ふるさと納税を生かし、事業者支援を目的としたクラウドファンディング実施への見解は。

③市独自でアーティスト支援を実施すべきだが見解は。

④児童・生徒にウェブ授業などICT教育を構築すべきでは。

市長 ①市内で消費を循環させる仕組みを盛り込むことは難しいが、市内で消費を促すキャンペーンの展開等について、今後、商工会等と連携し検討していく。



感染症と相談数増加/休校と学習環境整備/コロナ対策の基金

水口かずえ議員(まちづくり市民こだいら)

新型コロナウイルス感染症拡大と相談件数増加への対応

質問 ①小平市社会福祉協議会への緊急小口資金の申請件数は。

②社会福祉協議会の対応人数増加の必要性に対し市の支援は。

市長 ①本年4月は194件、5月は25日時点で279件で、昨年4月は4件、5月は2件である。

②現在のところ支援予定はないが、引き続き情報を共有する。

休校の影響を緩和するための学習環境の整備等について

質問 家庭学習通信環境整備支援のためのモバイルルーターの借上げ台数が380台では足りない



市独自の新型コロナウイルス感染症対策でピンチをチャンスに

山田大輔議員(政和会)

市独自の新型コロナウイルス感染症対策でピンチをチャンスに

質問 ①特別定額給付金を地域活性化のために使うキャンペーンを実施するべきだが見解は。

②ふるさと納税を生かし、事業者支援を目的としたクラウドファンディング実施への見解は。

③市独自でアーティスト支援を実施すべきだが見解は。

④児童・生徒にウェブ授業などICT教育を構築すべきでは。

市長 ①市内で消費を循環させる仕組みを盛り込むことは難しいが、市内で消費を促すキャンペーンの展開等について、今後、商工会等と連携し検討していく。



学校給食休止に伴う給食食材納入業者に対する補償について

比留間洋一議員(政和会)

学校給食休止に伴う給食食材納入業者に対する補償について

質問 ①納入業者と給食食材補償費についての協議は行ったか。

②市では、納入業者宛てに補償費請求の文書を5月20日に送付しているが、納入業者のうち何割の業者が申請すると考えるのか。

③契約書に、物資の所有権は検量・検収に合格したとき、受注者から発注者に移転するものとし、移転前に生じた損害は全て受注者の負担とするところが、発注者の発注取消しはどちらの負担と考えているのか。

④全納入業者と補償の協議は

進んでいるのか。



いかなる状況下でも支援等が必要な人たちを支える仕組みを

山浦まゆみ議員(生活者ネットワーク)

いかなる状況下でも支援等が必要な人たちを支える仕組みを

質問 ①こだいら生活相談支援センターの相談件数及び内容は。

②コロナ禍での子ども家庭支援センターのDV等対応状況は。

③コロナ禍での民生委員・児童委員の活動状況は。

④コロナ禍での乳児家庭全戸訪問事業の実施状況は。

⑤あおぞら福祉センターやたつた在宅支援含め障害福祉サービスや相談支援を継続している。

⑥継続的な支援を要する人の増加が予想され、引き続き、こだいら生活相談支援センターと連携し相談に対し確実かつ迅速に支援できるよう対応していく。



新型コロナウイルス感染症の影響が生じている事業者の支援を

福室英俊議員(政和会)

新型コロナウイルス感染症の影響が生じている事業者の支援を

質問 ①一般会計補正予算第2号で予算化できなかったことは。

②デリバリー、テイクアウト実施の事業者に市独自の支援を打ち出すべきだが、市の見解は。

③国民健康保険の個人事業主が、新型コロナウイルスに罹患して一定期間働けなくなった場合の見舞金制度をつくるのが、有効な策と考えるが、見解は。

④都の感染拡大防止協力金の対象外だった事業者は、マスク等衛生費や設備投資等で少なくない出費があったが、市独自で補助を打ち出すべきでは。

市長 ①今回、中小企業等支援給付金事業を予算化した。予算化できなかった他の事業はない。

用語の解説

※1 PCR検査とは

PCRは、Polymerase Chain Reaction (ポリメラーゼ連鎖反応) の略で、ウイルスに含まれる特定の遺伝子を増やして調べる検査方法のこと。新型コロナウイルス感染症の検査には、精度や効率性を考慮して、現時点でこの方法を用いることが多い。

※2 3つの密(3密)とは

密閉、密集、密接のこと

※3 ヘイトスピーチとは

一般的に、デモやインターネットなどにおいて、特定の国の出身者であることやその子孫であることのみを理由に、一方的に社会から追い出そうとしたり危害を加えようとする言動のこと。

※4 Googleマイビジネスとは

Google社が提供するサービスのことで、Google検索やGoogleマップ等のサービス上にプロフィール

ールやサービス内容などのビジネス情報を表示させることができる。

※5 財政調整基金とは

大幅な税収減、災害発生などによる臨時の出費等への備えや、年度間の財源不均衡を調整するために積み立てられる貯金のこと。

※6 KGIとは

Key Goal Indicator(重要目標達成指標)の略で、組織が行う経営戦略等において達成すべき最終的な目標を数値や数量で表した指標のこと。

※7 KPIとは

Key Performance Indicator(重要業績評価指標)の略で、達成すべき最終的な目標に対し、どれだけ進捗したかを数値や数量で評価するための指標のこと。

※8 緊急小口資金(特例貸付)とは

各都道府県の社会福祉協議会が実施している貸付け制度のこと。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に、費用の貸付けを行っている。

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に対し

祝い 市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができると定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。○=幹事長

政和会(7人)
○小野 高一 磯山 亮 鈴木 洋一
比留間洋一 福室 英俊 松岡あつし
山田 大輔

フォーラム小平(4人)
○小林 洋子 川里 富美 竹井ようこ
吉本ゆうすけ

日本共産党小平市議団(3人)
○細谷 正 きせ恵美子 鈴木だいぢ

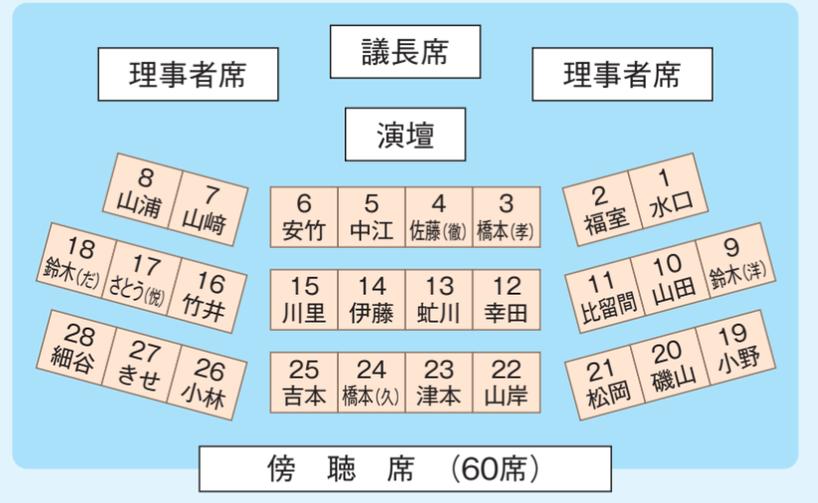
(無会派)
まちづくり市民こだいら(1人)
水口かずえ

市議会公明党(6人)
○津本 裕子 虻川 浩 佐藤 徹
橋本 孝二 山岸真知子 幸田 昌之

一人会派の会(4人)
○伊藤 央 中江 美和 橋本 久雄
安竹 洋平

生活者ネットワーク(3人)
○さとう悦子 山浦まゆみ 山崎とも子

議場議席図



意見書

6月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

特別定額給付金は今回だけでなくとまらず、今後も必要に応じて実施することを求める意見書

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による経済的影響への緊急経済対策の一施策として、1人10万円を支給する特別定額給付金の支給が始まりました。

しかし、緊急事態宣言解除後も、通常の生活を取り戻すまでには長い時間がかかり、市民生活はさらに厳しさを増すことが予想されます。

したがって、給付金は今回だけで終わらせず、今後も必要に応じて支給が必要です。よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、以下のことを求めます。

- 1 特別定額給付金の支給は今回のみにとどまらず、必要に応じて実施すること。
- 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣宛て

小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

議会日誌

5月8日～7月10日
本会議、委員会、諸会議など

5月

- 8日 幹事長会議(臨時)
- 11日 議会運営委員会(臨時)
- 14日 幹事長会議(臨時)
- 15日 議会運営委員会(臨時)
- 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 19日 5月臨時会
- 総務委員会
- 厚生委員会
- 25日 幹事長会議
- 28日 議会運営委員会
- 災害対策幹事長会議

- 9日 総務委員会
- 10日 生活文教委員会
- 11日 厚生委員会
- 12日 環境建設委員会
- 16日 広聴広報特別委員会
- 17日 都市基盤整備調査特別委員会
- 18日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 22日 幹事長会議
- 23日 議会運営委員会
- 26日 6月定例会最終日
- 総務委員会
- 広聴広報特別委員会

6月

- 2日 6月定例会初日
- 正副委員長協議会
- 3日 6月定例会2日目(一般質問)
- 4日 6月定例会3日目(一般質問)
- 5日 6月定例会4日目(一般質問)
- 8日 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会

- 30日 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
- 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会
- 東京都四市競艇事業組合議会臨時会

7月

- 10日 広聴広報特別委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月14日に予定していた小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会は、6月8日に日程を変更して実施しました。また、所管事務調査の実施を予定していた5月19日の総務委員会、5月20日の生活文教委員会、5月21日の厚生委員会、5月22日の環境建設委員会は中止となりました。

市議会ホームページ

小平市議会のページには様々な機能があります。ぜひご利用ください。

○市議会だよりデジタル版
年4回発行している市議会だよりをデジタルブック形式で読むことができます。キーワード検索など便利な機能があります。

○市議会だより音声版
5月、8月、11月、2月の年4回、目の不自由な方に音声による市議会だよりを発行しています。

○議会中継
本会議の様子をインターネットで録画配信しています。録画映像は会議日の3日後から配信を開始し、次の定例会の前日までの間、ご覧いただけます。

○会議録検索システム
本会議や委員会での発言は会議録に記録されます。会議録検索システムでは、キーワードなどから会議録を検索することができます。

会議公開のお知らせ

令和2年7月から幹事長会議(議長及び会派の代表者で行われる会議のこと)を傍聴できるようにになりました。開催当日、午前8時30分から議会事務局で受付を行います。所定の手続きをしていただいた後、傍聴券をお渡しします。開催場所及び開会時刻につきましては、議会事務局までお問い合わせください。

また、会議の内容は、後日、市議会ホームページの会議録検索システムでも閲覧できますので、併せてご利用ください。

市議会災害対策連絡会議を設置

小平市議会災害時対応指針第4(1)に基づき、令和2年5月25日に、市議会災害対策連絡会議を設置しました。

所掌事項

- 議員の安否等、情報を共有すること。
- 市感染症対策本部の情報を共有し、議員に情報提供を行うこと。
- 議員が収集した市民または地域の情報または要望を市感染症対策本部に提供すること。
- その他座長が必要と認める事項に関する事。

構成員

○全議員(座長に議長、座長代理に副議長をもって充てることとしていきます)

あとながき

5月臨時会では令和2年度一般会計補正予算(第2号)などの議案について、また、6月定例会では令和2年度一般会計補正予算(第3号)などの議案について、それぞれ活発な議論が交わられました。

今後も市議会の活動を積極的にお知らせし、議会への関心を深めていただけるよう、わかりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。ご意見やお気づきの点などをごいしましたら、議会事務局までお寄せください。

〒187-8701 小平市小川町二丁目133番地
TEL 042(346)9566
FAX 042(346)9567

TEL 042(346)9566
FAX 042(346)9567